Cal. ND75

このたびはメカニカル時計ND75をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますようお願い申しあげます。
なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

You are now the proud owner of the Mechanical Watch Cal. ND75. For best results, please read the instructions in this booklet carefully before using your Mechanical Watch. Please keep this manual handy for ready reference.

Sie sind jetzt Besitzer einer Mechanische-Uhr Kal. ND75. Bitte lesen Sie diese Bedienungsanleitung vor Verwendung der Uhr sorgfältig durch und heben Sie sie gut auf.

Vous êtes maintenant l'heureux propriétaire d'une montre mécanique Cal. ND75. Pour une excellente performance de notre produit, veuillez lire attentivement ce mode d'emploi à conserver pour toute référence ultérieure, avant d'utiliser la montre.

Siete ora il felice proprietario di un orologio meccanico Cal. ND75. Per ottenere i migliori risultati dal Vostro orologio, Vi raccomandiamo di leggere attentamente le istruzioni di questo manuale prima di utilizzarlo. Conservate poi il manuale per qualsiasi futuro riferimento.

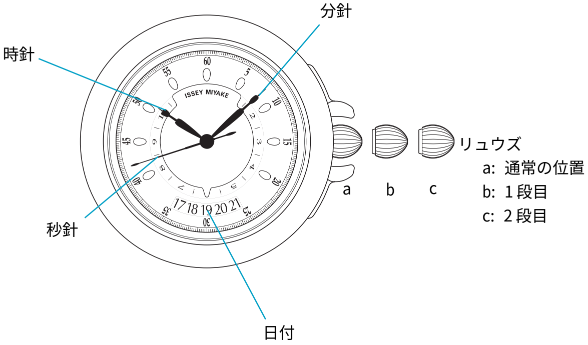
目　次

J

時計の取り扱いについては、保証書およびこの取扱説明書をご覧ください。

ご使用方法

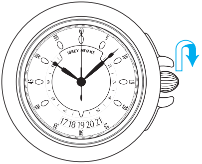
●各部の名称とはたらき



●自動巻き式機械時計の取扱いかた

- この時計は、自動巻き式機械時計（手巻き付き）です。
- ゼンマイは時計を腕につけた状態では通常の腕の動きで自然に巻くことができます。また、リュウズをまわしてゼンマイを巻くこともできます。
- 止まっている時計をお使いになるときは、リュウズをまわすか、時計を振って始動させてください。
  ゼンマイを十分に巻き上げてから日付と時刻を合わせて腕にお着けください。
- ゼンマイを巻く際には、リュウズを右方向（12時方向）にゆっくりまわしてください。なお、リュウズは左方向（6時方向）では空回りするようになっています。ゼンマイは、巻き上げが完了しても空回りしますので、ゼンマイを巻き切る心配はありません。
- この時計は、ゼンマイを十分に巻き上げた状態で持続時間は約50時間動き続けます。

  ※ ゼンマイの巻き上げ不足は進み遅れの原因になりますので、1日8時間以上携帯されることをおすすめします。もし、時計を腕に着けないでご使用になられる場合は、毎日、一定の時刻にゼンマイを十分に巻いてご使用ください。



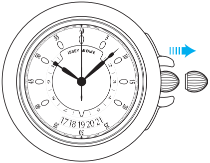
J

●時刻・日付の合わせかた

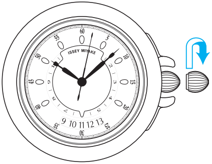
・時計が動いてから「時刻・日付の合わせ」をしてください。
・この時計には、日付表示機能がついています。24時間に1回日付を一日分送るようになっています。

①リュウズを1段目まで引き出してください。（秒針は動いています。）

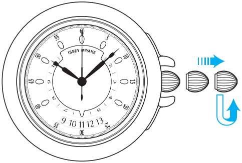
※ 午後8時から午前2時までの間は日付の修正を行わないでください。この時間帯に日付を修正しますと翌日になっても日付が変わらないことがあります。



②リュウズを右方向（12時方向）に回すことで日付合わせが行えますので、合わせたい日の前日の日付にセットします。

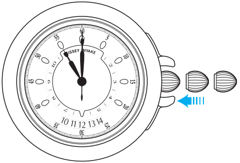


③秒針が「12時」を指したときにリュウズを2段目まで引き出してください。（秒針が止まります。）左方向（6時方向）に回しながら時針を動かし、午前・午後に気をつけながら日付と時刻を合わせてください。



※ 機械時計は、クオーツ時計と機構が異なりますので、時刻を合わせる際には、針をいったん正しい時刻よりやや遅らせておき、それから進めて合わせるようにしてください。
※ 日付は、時針を 24 時間分まわすと１日変わります。
※ 日付は、午後10時から午前0時までにかけて、徐々に送るようになっています。よって、午前と午後を間違えて合わせてしまうと、お昼の12時に日付が変わってしまいます。
※ 時刻合わせは、電話の時報サービスＴＥＬ．117 が便利です。

④時報と同時にリュウズを 0 段目まで押し込んでください。動き始ます。



●月末の日付修正について

・2月（1ヶ月が 28 日、うるう年は 29 日）と小の月（1ヶ月が 30 日）では日付の修正が必要になります。

【小の月の翌月 1 日の朝、日付を修正する場合】

①「1 日」ではなく「31 日」が表示されています。
リュウズを 1 段目に引き出してください。

②リュウズを右方向（12 時方向）に回転させ、日付を「1 日」に合わせたのち、リュウズを押し込んでください。

使用上のご注意とお手入れの方法

●日常のお手入れ

⚠注意

・ ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくとサビて衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因になることがありますので常に清潔にしてご使用ください。
・ 時計を外したときは、柔らかい布などで汗や水分をふき取るだけで汚れや、ケース・バンド及びパッキンの寿命が違ってきます。

〈革バンド〉

・ 革バンドは、柔らかい布などで吸い取るように軽くふいてください。こするようにふくと色が落ちたり、ツヤがなくなったりする場合があります。

〈金属バンド〉

・ 金属バンドは、ときどき柔らかい歯ブラシなどを使い、部分洗いなどのお手入れをお願いします。その際に、非防水の時計の場合には時計本体に水がかからないようにご注意ください。

●かぶれやアレルギーについて

⚠注意

・ バンドは多少余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用ください。
・ かぶれやすい体質の人や、体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれをきたすことがあります。
・かぶれの原因として考えられるのは、
  1. 金属・皮革に対するアレルギー
  2. 時計本体及びバンドに発生した錆、汚れ、付着した汗などです。
・万一肌などに異常を生じた場合は、ただちに使用を中止し、医師にご相談ください。

●その他、携帯上ご注意いただきたいこと

・ 転倒時や他人との接触などにおいて、時計の装着が原因で思わぬケガを負う場合がありますのでご注意ください。
・ 特に乳幼児を抱いたりする場合は、時計に触れることでケガを負ったり、アレルギーによるかぶれをおこしたりする場合もありますので、十分にご注意ください。
・ 落としたりぶつけたりはもちろんのこと、激しいスポーツなどによるショックもお避けください。時計が一時的に遅れたり進んだりします。

●保管について

・「－10℃～＋60℃からはずれた温度」下では機能が低下したり、停止したりする場合があります。
・ 磁気の影響（テレビ、スピーカ、磁気ネックレス等）があるところに放置しないでください。
・ 強い振動のあるところに放置しないでください。
・ 極端にホコリの多いところに放置しないでください。
・ 薬品の蒸気が発散しているところや薬品にふれるところに放置しないでください。（薬品の例：ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、およびそれらを含有するもの＝ガソリン、マニキュア、化粧品などのスプレー液、クリーナー剤、トイレ用洗剤、接着剤など＝水銀、ヨウ素系消毒液など）
・ 温泉や、防虫剤の入った引き出しなど特殊な環境に放置しないでください。

●防水性能

⚠注意

- この時計は日常生活用防水（3気圧）です。
  洗顔や雨などの日常のご使用に耐えます。水の中に入れてしまうような環境での使用はできません。
- 水分のついたままリュウズを回したり、引き出したりしないでください。時計内部に水分が入ることがあります。

●定期点検について

- ながくご愛用いただくために、2～3年に一度程度の分解掃除による点検調整をおすすめします。
  ご使用状況によっては、機械の保油状態が損なわれたり、油の汚れなどによって部品が磨耗し、時計の進み、遅れが大きくなることがあります。また、パッキン等の部品の劣化が進み、汗や水分の侵入などで防水性能が損なわれる場合があります。
  分解掃除による点検調整を、お買い上げ店にご依頼ください。
- 部品交換の時は、「純正部品」とご指定ください。
- 定期点検の際には、パッキンやバネ棒の交換もあわせてご依頼ください。

こんな時には

現象	考えられる原因	このようにしてください
・時計が止まった。	・ゼンマイが巻かれていない	・ゼンマイを手で巻くかまたは数回振れば動き出します。それでも、動かない場合は、お買い上げ店にご相談ください。
・時計が一時的に進む／遅れる	・暑いところまたは寒いところに長く置いた ・磁気を発生するもののそばに置いた。 ・落としたり強くぶつけたり、または激しいスポーツをした。 ・強い振動が加えられた。 ・3 年を越える長期間、分解掃除による点検調整を行っていない。	・精度は、常温にもどれば元にもどります。 ・精度は、磁気の発生するものから放せば元にもどります。元にもどらない場合は、お買い上げ店にご相談ください。 ・精度は、元にもどりません。お買い上げ店にご相談ください。 ・お買い上げ店にご相談ください。
・日付が日中に変わる	・時刻合わせが違っている。	・12時間分、針を進めてください。
・ガラスのくもりが消えない。	・パッキンの劣化などにより時計内部に水分が入った。	・お買い上げ店にご相談ください。

※ その他の現象は、お買い上げ店にご相談ください。

J

アフターサービス・保証について

- 万一故障した場合には、お買い上げ店にお持ちください。保証期間内の場合は保証書を添えてください。
- 修理期間経過後の修理およびこの時計についてのご相談は、お買い上げ店でうけたまわっております。なお、ご不明な点は保証書に記載されているお問い合わせ先にご連絡ください。
- 保証内容は保証書に記載したとおりですので、よくお読みいただき大切に保管してください。

補修用性能部品について

（補修用性能部品とは、時計の機能を維持するのに不可欠な修理用部品です。）

- 修理可能な期間はご使用条件によりいちじるしく異なり、精度等が元通りにならない場合もありますので、修理ご依頼の際にお買い上げ店とよくご相談ください。
- 修理のとき、ケース・文字板・針・ガラス・バンドなどは、一部代替部品を使用させていただくことがありますのでご了承ください。

製品仕様

J

（1） 機能 3針
時間表示（時針、分針、秒針）
日付表示
（2） 振動数 .... 28,800 振動 / 時間
（3） 携帯精度※ .... 平均日差　+15 秒～ -10 秒（常温 5℃～ 35 ℃において）
（4） 駆動方式 .... ゼンマイ巻（自動巻〈手巻き付〉）
（5） 使用石数 .... 26 石

※ ご使用になる条件（携帯時間、腕の動き、ゼンマイの巻き上げ具合等）によっては、上記精度の範囲を超える場合があります。

※ 上記の製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

機械式時計の精度について

(1)携帯精度と静的精度

「機械式時計の精度」には、二つの意味があります。

・本書上の「携帯精度」とは、一定の条件で携帯した場合の一週間の進み・遅れを、一日の平均値で表した精度を「携帯精度」といいます。
・一方、一般的な機械式時計の検査では、ムーブメントを様々な姿勢・温度の条件下においた静的状態で、進み・遅れを測定します。これを「静的精度」といいます。

(2)日差

機械式時計の精度は「日差」で表されます。

機械式時計の精度は毎日微妙に変化し、一定していないのが普通ですので、実際に、携帯したときの時計の進み・遅れは１日で判断せず、一週間の平均値から判断します。なお、ご使用になる時間や環境などの条件によっては、本書上の精度表記の範囲を超える場合があります。

(3)精度の温度差

機械式時計の精度を作る部品には金属が使われています。金属の特性として、温度の変化によって伸び縮みすることは良く知られています。これが時計の精度に影響を与えます。機械式時計は高温下では遅れがちになり、低温下では進みがちになります。

J

(4)ゼンマイの巻き具合と精度

精度を高める為には、歯車の速度をコントロールする部品（テンプ）に規則正しくエネルギーを補給する事が重要です。

機械式時計の動力源であるゼンマイは、いっぱいに巻かれている状態とほどける直前の状態では力が異なり、ほどけるにしたがって力が弱くなっていきます。

ゼンマイは毎日一回、一定の時刻に充分に巻き上げ、規則正しく動かす事で、比較的安定した精度が得られます。